

# 備える 3.11から

# 第86回 津波 どう逃げる？

## 半数以上が車で避難

東日本大震災では、被災者の半数以上が車を使って避難していた。津波から避難する際は「徒歩」よりも「車で避難」が有効とされている。国土交通省の調査によると、津波到達前に避難を始めた3018人対象の半数以上が車で避難した。避難の平均移動距離は約1.5キロメートル、平均避難時間は約15分だった。

■見て見ぬふり？

全去場所まで避難、車だとならぬ。避難の平均移動距離は約1.5キロメートル、平均避難時間は約15分だった。

国土交通省は青森から千葉県まで、被災者約1万人を対象に、津波避難の実態を調査した。津波到達前に避難を始めた約5524人対象の調査結果は、徒歩が約423メートル、自転車1550メートル、車2493メートルだった。避難の平均移動距離は約1.5キロメートル、平均避難時間は約15分だった。

■速く走り歩め

ただ、「車だから早く逃げられる」とばかりに、避難の準備がなっていない。国土交通省の調査で、被災者の約4割は、避難の準備がなっていないと回答した。

国土交通省の東日本大震災の避難実態調査。避難の平均移動距離は約1.5キロメートル、平均避難時間は約15分だった。

東日本大震災で車を使って避難した人の割合は約55%だった。避難の平均移動距離は約1.5キロメートル、平均避難時間は約15分だった。

## 被災6県調査「移動1キロ以内」35%



東日本大震災の強い余震が起きた。避難する車で渋滞する道路。2011年4月8日、仙台市宮城野区で撮影。

国土交通省は被災6県を対象に、津波到達前に避難を始めた3018人対象の調査を行った。調査の結果、避難の平均移動距離は約1.5キロメートル、平均避難時間は約15分だった。また、被災者の約35%は、避難の移動距離が1キロ以内だった。



## 機動性なら自転車 坂道や雪には弱さ

津波から逃げるために自転車は有効性を説く専門家もいる。国土交通省の調査によると、東日本大震災での避難の平均速度は、車が時速9.4キロ、自転車が時速6.2キロ、両者に大きな開きはない。ただし、自転車で避難した人は0.9%しかいなかった。



東日本大震災で国土交通省の津波避難調査にかかわった東洋大社会学部の関谷直也准教授。災害社会学に「車避難のあり方」を論じた。

## 「徒歩」だけでは限界 東洋大関谷直也准教授 災害社会学

「徒歩」だけでは限界。東洋大関谷直也准教授は、災害社会学の観点から、避難のあり方について論じている。彼は、徒歩での避難は、津波到達直後の初期段階では有効だが、避難の移動距離が長くなるにつれて、その有効性は低下する。また、高齢者や障害者など、徒歩での避難が難しい人々もいる。

「備える」は毎月第1、第3月曜掲載です。次回は17日です。